2022年度　日本工学院専門学校									
ミュージックアーティスト科／サウンドクリエイターコース									
作品研究１									
対象	１年次	開講期	前期	区分	必修	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	広瀬　眞之		実務経験	有	職種	アレンジャー			

担当教員紹介

ジャズギタリスト、コンポーザー。1979年にCBSソニーからレコードデビュー。1989～90年渡米。帰国後はDAW分野でも活動を始めナンジャタウン音楽、TV番組音楽などを制作。近年はcotoricoプロジェクトや自社レーベル運営などプロデューサー活動も多い。著書に“ジャズ100年史”“Professional MIDI Tips100”など。

授業概要

受講学生は「最高の娯楽エンタテインメントのひとつであるポピュラーミュージック」を、その各時代の構成要素を時系列的に整理整頓し直すことによりその全体像の分析把握を可能にする。また表面に現れた音楽事象だけでなく、その社会背景への理解を深める。

到達目標

受講学生がポピュラーミュージックの全体像を理解把握する過程を経ることで、人間社会との密接な関係性やさらにはマーケットの変遷・動向にも意識を向けられるようにする。授業時数の４分の３以上出席しない者は定期試験を受験することができない。

授業方法

この授業では、なるべく多くの参考資料としての映像・音源を視聴することで具体的な授業を進める。基本的には講義形式で行うが、一方通行に終始することなく、学生個々の思考を促すために随時問いかけと返答という授業中での行動を通して、学生の積極的思考を醸成していく。

成績評価方法

試験・課題　70%　課題毎に提出。検定試験の受験・点数により評価
成果発表　　20%　授業内に行われるロールプレイング・グループワークにより評価
平常点　　　10%　積極的な姿勢

履修上の注意

この授業では、先ずは未知の情報に対して積極的な興味を持つこと。そして講義を通して紹介解説される事象に対して各自考察・意見形成していくことに留意して欲しい。出席率、提出率が4分の3を満たしていない者、4分の3以上出席しない者は、定期試験受験不可、進級できない。

教科書教材

毎回授業にて資料配布を行う
参考書・参考資料等は授業中に指示をする

回数	授業計画
第1回	19Cポピュラーミュージック黎明期における地歴・社会背景の基本的な理解を目指す
第2回	ルーツミュージックの１「Marching(New Orleanse Jazz)」の基本的特徴と社会背景を知る
第3回	ルーツミュージックの２「Gospel」の基本的特徴と社会背景を知る
第4回	ルーツミュージックの３「Blues」の基本的特徴と社会背景を知る
第5回	ルーツミュージックの４「Country」の基本的特徴と社会背景を知る

2022年度　日本工学院専門学校	
ミュージックアーティスト科／サウンドクリエイターコース	
作品研究１	
第6回	20C初頭の音楽シーンの社会的状況やレコード産業勃興期の時代背景の基礎的理解
第7回	ニューオリンズジャズからスウィングジャズへの発展期である1920年代～30年代の把握理解
第8回	「スウィングしなけりゃ意味が無い」 1930年代ビッグバンドジャズ全盛時代の音楽的特徴の基本的な把握と 世界戦争に至る社会状況の基礎的な理解
第9回	V-Disc, Hot Music...特殊な時代の特殊な音楽状況を知る
第10回	新たな平和の時代の始まりと音楽シーンの変化の関係を知る
第11回	ロックンロール登場！その1950年代社会背景の理解と音楽スタイルの基本的把握
第12回	利権争いの渦に翻弄されるロックンローラー達とその後
第13回	利権争いののちの恵み。1960年代前半の社会情勢とともに把握する
第14回	ベトナム戦争の影響による社会の変化と音楽シーンの基礎的な理解
第15回	Rock&Soul二大潮流の完成に至るまでの流れをまとめ、理解する